「街道浪漫～中山道をゆく。」

木曽川夢空間の背骨「中山道」。かつて数多の旅人が歩いた道を
まちの風情や人情、おいしいものを味わいながら、ゆっくりと…。
街道筋の歴史や浪漫が息づく「みち」をあなたも歩いてみませんか。

ぐるっと木曽川。
人、ひと、巡り

木曽川 宿場コラボ モデルコースを歩く

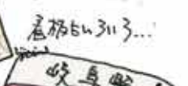
日記風MAP

…名所・旧跡もいいけれど、いっぱい(多く)止まって、自分だけの発見をするのが、タウン・ウォークのいちばんの楽しみ!! …(名所などは、まちでもらえるフリーマップなどを活用しよう…)

[歩いた日：2005年3月20日(日) くもり～はれ] [歩いた距離：約15km]

中山道、52番目の宿場「太田宿」の西端には道路に枡形が残り、道標や常夜灯があり、庚申堂もある。このあたりは文豪、井内通遥の子どもの頃の遊び場であり、すぐ先の太田小学校の前は通遥公園として整備されている。

旧・太田宿の道は北側を国道が通っているため、車の通行はごく少なく歩きやすい。当時のものとしては、旧本陣の正門と脇本陣の豪壮な建物(国重文)が残るくらいだが、今も町並の雰囲気が伝わる"まち"だ。

太田宿の東端には、太田下台井堰石造と神明堂の四止道標が残り、中山道はここから木曽川を再び渡って伏見宿へ向かう。

⑪太田宿は古いものと今の暮らしとが一緒に主張しあっているようで、とても楽しそうな"まち"だ。そんなまちで何人もの、とてもすてきなひと達に出会った。八百屋さんの踊り好きな若奥さん、珍客を迎えてくれた元気な商人たち、小さなお店のかわいいおばあちゃん、どーんとおまけしてくれた八百屋さんの大将…そんな"まち"でみつけたものたち…